令和　5 年度 3月補正予算　主要な事業の説明書

（一般会計）

令和6年第1回 嬉野市議会定例会提出

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	3 消防施設費	事業名	消防施設整備事業
総合計画による位置づけ	基本方針	助け合う安全・安心のまちづくり					政策分野	①消防・防災

実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課	予算書ページ	60	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

消防施設を整備改修することにより、火災への備えを充実し、消防団による消火活動の充実を目指す。

2. 事業内容

有蓋防火水槽設置、消火栓設置・改修、消防積載車更新、小型動力ポンプ更新。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 117,708

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備	防火水槽整備、消防積載車・ポンプ更新、消火栓整備
事業費(単位:千円)		補助率	21,837	19,735	34,965	41,171
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債	100%	20,100	16,800	24,600	34,900
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		1,737	2,935	10,365	6,271

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
委託料	防水槽用地測量設計・分筆測量	1,200	
	【今回補正】 大舟区 減による	△ 903	
工事請負費	防火水槽設置工事 2基	31,900	
	【今回補正】 下岩屋1区 △1基	△ 10,577	
公有財産購入費	防火水槽(1基)用地購入費	1,800	
備品購入費	消防積載車1台、小型ﾎﾟﾝﾌﾟ2台、救命ﾎﾞｰﾄ2艇	12,156	746
	【今回補正】 入札減、救命ボート補助不採択による	△ 356	△ 746
負担金,補助及び交付金	消火栓新設1基、改修4基(水道企業団へ)		5,951
計		35,220	5,951

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		53,003千円
3月補正事業費		-11,832千円
(補正財源内訳)	国庫支出金	-256千円
	市債	-11,100千円
	一般財源	-476千円
補正後事業費		41,171千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	ふるさと応援寄附金
総合計画による位置づけ	基本方針	みんなで創る、自発のまちづくり					政策分野	⑤財政計画

実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	41～42	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

嬉野市のまちづくりを応援するために贈られた寄附金を財源として、次のようなまちづくりに活用する。
○“いきいき”ひとにやさしいまちづくり　○“もりもり”元気のあるまちづくり　○“わくわく”子どもを育むまちづくり　○夢ひろがるまちづくり
○子どもたちが健やかに育つことを支援する事業

2. 事業内容

寄附金は、嬉野市ふるさと応援寄附金基金条例及び嬉野市ふるさと応援寄附金子育て夢基金条例に基づき基金として積み立て、各事業に活用する。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 11,901,059

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			寄附の受付け及び寄附者へのお礼品配送	寄附の受付け及び寄附者へのお礼品配送	寄附の受付け及び寄附者へのお礼品配送	寄附の受付け及び寄附者へのお礼品配送
事業費(単位:千円)		補助率	3,256,825	3,300,371	2,843,503	2,500,360
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金		3,256,205	3,299,672	2,842,990	2,500,000
	その他		620	699	513	360
	一般財源					

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
報酬	会計年度任用職員1年×2人、11カ月×1人		4,539
職員手当	会計年度任用職員1年×3人		934
共済費	会計年度任用職員1年×2人、11カ月×1人		1,020
報償費	市直接発注分お礼品及び配送料		202,759
需用費	(消耗品費)用紙代他事務用品		346
役務費	(通信運搬費)郵便料、返信用切手代 (手数料)振込手数料(郵便局)		9,783
	【今回追加補正】 -6,826,000円		-6,826
委託料	お礼品・配送料、事務委託料、ワンストップ申請書受付業務等		1,627,217
	【今回追加補正】 -426,187,000円		-426,187
積立金	積立金1,453,402千円　基金利子821千円		1,454,223
	【今回追加補正】 積立金 -366,987,000円 基金利子 -461,066円		-367,448
計			2,500,360

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	3,300,000	千円
3月補正事業費	-800,000	千円
補正後事業費	2,500,000	千円

寄附額			
	市へ直接申込	350件	25,900千円
	オンライン申込	159,700件	2,474,100千円
	計	160,050件	2,500,000千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	14 コミュニティーセンター費	事業名	コミュニティーセンター運営費
総合計画による位置づけ	基本方針	みんなで創る、自発のまちづくり					政策分野	③住民自治・住民参画

実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書ページ	43	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

地域の子どもからお年寄りまで世代間の交流を促進する場を提供するとともに、文芸・絵画などの作品等を展示することにより、地域コミュニティの活性化と地域福祉の増進に寄与する。建設後17年が経過し、老朽化が進み、職員の対応頻度などの状況を踏まえ、令和4度より指定管理制度の導入により、効果的・効率的な施設管理を実施し、市民サービスの向上と経費削減を図る。

2. 事業内容

・嬉野市コミュニティーセンター（楠風館）の運営、施設管理
・芸術、文化、スポーツ、学習、健康づくり等、幅広い交流・研修の場の提供。
・文芸、絵画などの作品等展示。
・指定管理による自主事業の実施により、愛着を持って運営することによりこれまで以上の利用者を呼び込み市民全員が親しみを持って利用できる施設にする。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 72,502

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			コミュニティーセンター運営管理	コミュニティーセンター運営管理	コミュニティーセンター運営管理	コミュニティーセンター運営管理
事業費(単位:千円)		補助率	14,923	23,470	14,794	19,315
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金		2,000	10,200	1,000	
	その他		2,550	1,384	10,016	10,016
	一般財源		10,373	11,886	3,778	9,299

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
需用費	修繕料955千円		955
役務費	保険料140千円		140
委託料	指定管理委託料　11,500千円		11,500
	【今回追加補正】　350千円		350
工事請負費	空調機器設備改修工事　6,325千円		6,325
備品購入費	洗たく機　45千円		45
計			19,315

5. その他参考となる事項

楠風館指定管理委託料

楠風館を指定管理委託しているが、通常の施設の維持管理では発見できない水漏れによる水道料金の増額。（リスク分担表による協議）

水道料金増額		350千円（実績想定）
当初予算事業費		11,500千円
3月補正事業費		350千円
（補正財源内訳）	一般財源	350千円
補正後事業費		11,850千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい児通所給付費等事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	③障がい者福祉

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	46	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

障がい児に対し日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行う。

2. 事業内容

就学前の障がい児(児童発達支援)、就学の障がい児(放課後等デイサービス)に日常生活等の適応指導を行う。
外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行う。
保育所等に訪問し、障がい児に集団への適応指導等を行う。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 481,301

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			・児童発達支援 ・居宅訪問型児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援	・児童発達支援 ・居宅訪問型児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援	・児童発達支援 ・居宅訪問型児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援	・児童発達支援 ・居宅訪問型児童発達支援 ・放課後等デイサービス ・保育所等訪問支援
事業費(単位:千円)		補助率	103,023	114,079	121,151	143,048
財源内訳	国庫支出金	1/2	50,061	62,570	62,543	67,467
	県支出金	1/4	24,875	31,285	31,272	33,733
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		28,087	20,224	27,336	41,848

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
役務費	(手数料)障がい児通所給付費等事務		260
	【今回追加補正】		
	実績見込額290千円-260千円＝30千円		30
扶助費	障がい児通所給付費等事業	120,875	
	【今回追加補正】		
	実績見込額　134,935千円-120,875千円＝14,060千円	14,060	
償還金、利子及び割引料	障がい児通所給付費等償還金(前年度国県負担金)		7,823
計		134,935	8,113

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費		121,135千円
12月補正事業費		7,823千円
3月補正事業費		14,090千円
(補正財源内訳)	国庫支出金	7,030千円
	県支出金	3,515千円
	一般財源	3,545千円
補正後事業費		143,048千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金費	事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	③障がい者福祉

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算書ページ	47	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、1世帯あたり3万円を支給する。

2. 事業内容

【基準日】 令和5年6月1日
【申請者】 令和5年度の住民税非課税世帯　2,609世帯　うち申請者2,389世帯
【支給額】 1世帯あたり3万円

3. 全体計画

事業期間 令和　　年度　～　令和　5　年度　事業費(千円)　76,106

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容						電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金
事業費(単位:千円)		補助率				76,106
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	地方創生臨時交付金	定額				76,106
	一般財源					

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
報酬	会計年度任用職員　2名分	2257	
	【今回減額補正】 会計年度任用職員　2名分(1～3月分)	-776	
職員手当等	会計年度任用職員　2名分、職員時間外手当　3名分	771	
	【今回減額補正】会計年度任用職員　2名分(1～3月分)	-565	
共済費	会計年度任用職員　2名分	539	
	【今回減額補正】会計年度任用職員　2名分(1～3月分)	-243	
旅費	(費用弁償)　会計年度任用職員　2名分	180	
	【今回減額補正】会計年度任用職員　2名分(1～3月分)	-136	
需用費	(消耗品費)　コピー用紙他	281	
	【今回減額補正】実績見込額32千円	-249	
役務費	(通信運搬費)　696千円、(手数料)　357千円	1053	
	【今回減額補正】		
	実績見込額(通信運搬費)356千円、(手数料)　263千円	-434	
委託料	申請書印刷封入封緘業務	954	
	【今回減額補正】実績見込額543千円	-411	
負担金補助及び交付金	(負担金)システム改修	1215	
扶助費	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金	88500	
	【今回減額補正】 実績見込額　71,670千円	-16830	
	計	76,106	

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

6月補正事業費	95,750千円
3月補正事業費	-19,644千円
(補正財源内訳) 国庫支出金	-19,644千円
補正後事業費	76,106千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	施設型給付費
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	48	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。

2. 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。
（認可保育所6園、幼保連携型認定こども園5園、保育所型認定こども園1園、新制度幼稚園1園、小規模保育所1園　等）

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 4,681,957

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁	特定教育・保育施設の施設型給付費を支弁
事業費(単位:千円)		補助率	1,135,705	1,101,163	1,160,491	1,284,598
財源内訳	国庫支出金	1/2	543,023	545,670	562,707	626,912
	県支出金	1/4.1/2	251,793	249,505	249,906	283,720
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他(保護者負担金)		52,786	42,804	45,250	37,574
	一般財源		288,103	263,184	302,628	336,392

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
旅費	普通旅費11,220円 （保育料徴収）		12
需用費	消耗品費80,410円、印刷製本費71,385円		153
役務費	通信運搬費155,400円、手数料270,820円		427
委託料	保育所（施設型給付費） 546,861,000円	546,861	
	【今回追加補正】		
	保育所（施設型給付費） 実績見込25,761,410円	25,762	
負担金，補助及び交付金	認定こども園（施設型給付費） 648,862,000円	718,958	
	幼稚園（施設型給付費） 33,934,000円		
	小規模保育所（地域型保育給付費） 36,162,000円		
	【今回追加補正】		
	認定こども園（施設型給付費） 実績見込△10,863,040円		
	幼稚園（施設型給付費） 実績見込△4,385,748円		
	小規模保育所（地域型保育給付費） 実績見込7,673,470円	△ 7,575	
計		1,284,006	592

5. その他参考となる事項

当初予算事業費　1,266,411 千円
3月補正事業費　18,187 千円

（補正財源内訳）国庫支出金　5,495 千円
県支出金　△ 1,273 千円
一般財源　13,965 千円

補正後事業費　1,284,598 千円

【補正内容】 保育単価改定による増額及び、新規認定こども園定員割れ・保育園等実績見込み（入所児童数減）による減額

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり					政策分野	①結婚・妊娠・出産・子育て

実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	予算書ページ	48	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

小学生から高校生等の医療費を助成することにより、その疾病の早期治療を促し、保健の向上と福祉の増進を図り、子育て世代の負担を軽減することで生活の安定をもたらすことができる。

2. 事業内容

小学生から高校生等まで・・・窓口定額一部払い方式(現物給付)による助成。医療機関窓口に「受給資格証」を提示して受診する。
【通院】・・・ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限500円を2回目の受診まで。
【入院】・・・ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限1,000円
【薬局】・・・自己負担なし。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 257,049

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			小学生・中学生・高校生等の医療費助成	小学生・中学生・高校生等の医療費助成	小学生・中学生・高校生等の医療費助成	小学生・中学生・高校生等の医療費助成
事業費(単位:千円)		補助率	54,716	60,274	62,637	79,422
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金		52,419	57,000	55,350	55,000
	その他					130
	一般財源		2,297	3,274	7,287	24,292

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
需用費	消耗品費:12,040円　印刷製本費:16,830円		30
役務費	通信運搬費:41,160円		42
委託料	審査事務(国保連、社保支払基金、第三者求償事務)		2,529
	【今回追加補正】		
	支出見込額2,576,000円−予算額2,529,000円＝47,000円		47
扶助費	医療費助成(小学生・中学生・高校生等)		71,697
	【今回追加補正】		
	支出見込額76,774,000円−予算額71,697,000円＝5,077,000円		5,077
計			79,422

5. その他参考となる事項

当初予算事業費	62,823 千円
12月補正事業費	11,475 千円
3月補正事業費	5,124 千円
(補正財源内訳) 一般財源	5,124 千円
補正後事業費	79,422 千円

【補正内容】　医療費助成予定額が12月補正時の見込みよりも更に増えたことによる増額

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	農地集約協力金事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	52	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

農業の担い手が減少し、農地の未利用、低利用さらには遊休農地の増加が懸念される中、農業や地域の持続的な振興を図っていくためには、新規就農者の確保・育成はもとより、経営力や持続性のある企業や農業法人が集約された農地で農業参入、規模拡大を行うよう効率的で稼げる園芸農業等の実践を目指す。

2. 事業内容

市町や農業委員会が関係機関・団体や地区の農家等と連携し、企業・法人の参入・規模拡大や、新規就農者用の農地中間管理機構を活用して農用地の出し手となる耕作者等に協力金を交付することにより、農地の集約の取組をより一層促進する。

3. 全体計画

事業期間 令和 5 年度 ～ 令和 年度　事業費(千円) 342

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容						農地集約協力金事業
事業費(単位:千円)		補助率				342
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					342
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
負担金・補助及び交付金		342	
計		342	

5. その他参考となる事項

さが園芸888運動園芸構想を策定し、整備を行う地区が対象。
地区名　宮ノ元
取組内容　園芸団地構想
実施期間　令和5年度から令和8年度（補助金交付は初年度のみ）
対象農用地　前年度1月1日から当年度12月31日までに農地中間管理機構が賃借権等の設定や、所有権移転が行われた農用地
積算基礎　114a×30,000円/10a＝342,000円
対象者　7名

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	産地生産基盤パワーアップ事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	52	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

国が定める産地生産基盤パワーアップ事業実施要綱に基づき取組主体が行う事業に要する経費を補助することにより、産地の高収益化に向けた取組や園芸作物等の生産基盤の強化を図るための取組を総合的に支援する。

2. 事業内容

園芸ハウス団地への入植者を受益者として含む農業者の組織する団体が行う低コスト耐候性ハウスの整備に係る費用の一部を助成する。
補助率　国1/2以内、県4/20以内（上限3,000万円／人）、市町1/20以内（上限750万円／人）
R5年度補正事業の窓口市町は白石町であるため、市費補助金相当額(7,500,000円)を負担金として白石町に支出

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円)

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			低コスト耐候性ハウス	低コスト耐候性ハウス		低コスト耐候性ハウス
事業費(単位:千円)		補助率	42,900	911,228		7,500
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金		40,040	877,251		
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他			16,449		
	一般財源		2,860	17,528		7,500

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	(負担金)きゅうり低コスト耐候性ハウス		7,500
計			7,500

5. その他参考となる事項

取組主体	対象作物	事業内容	対象面積	市町	総事業費	負担区分			
						県費		市町費	自己負担額
						国庫相当額	県費加算額		
佐賀県農業協同組合	きゅうり	・低コスト耐候性ハウス 3棟9,251m2（作付面積8,703m2、管理室548m2） ・複合環境制御装置、細霧冷房装置、炭酸ガス発生装置、循環扇　等	4,320㎡	嬉野市	249,260,000円	113,300,000円	30,000,000円	7,500,000円	98,460,000円
			2,720㎡	武雄市	171,380,000円	77,900,000円	30,000,000円	7,500,000円	55,980,000円
			2,211㎡	白石町	120,890,000円	54,950,000円	21,980,000円	5,495,000円	38,465,000円
合計			9,251㎡	－	541,530,000円	246,150,000円	81,980,000円	20,495,000円	192,905,000円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 畜産業費	事業名	死亡獣畜処理対策事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	①農業

実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算書ページ	53	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

死亡獣畜の処理施設が県内に無いため、県外の処理施設までの搬送及び処理費用の一部を助成することにより、畜産農家の負担の軽減と死亡獣畜処理の円滑な推進を図り、畜産振興及び公衆衛生の向上に資する。

2. 事業内容

○搬送費用補助:(補助)　牛・豚共通　6，000円／頭　(内訳　県費3，000円・市費3，000円)
○処理費用補助:(単独)【豚】300円／頭
【牛】小　2，000円／頭、中　3，000円／頭、大　5，000円／頭
(「小」は月齢3ヶ月未満、「中」は月齢3ヶ月以上24ヶ月未満、「大」は月齢24ヶ月以上)

3. 全体計画

事業期間 平成 22 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 9,007

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			死亡獣畜処理対策事業費補助金	死亡獣畜処理対策事業補助金	死亡獣畜処理対策事業補助金	死亡獣畜処理対策事業補助金
事業費(単位:千円)		補助率	2,256	2,130	2,290	2,331
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金		993	981	990	1,086
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		1,263	1,149	1,300	1,245

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	(補助金)		
	・搬送費用補助	1,980	
	[今回追加補正]	192	
	・処理費用補助		310
	[今回減額補正]		−151
計		2,172	159

5. その他参考となる事項

※搬送費用補助は、県:1/2・市1/2補助。 処理費用補助は、市単独補助。

・搬送費用補助　2,172,000円
豚:　344回×6,000円＝　2,064,000円
牛:　18回×6,000円＝　108,000円
・処理費用補助　158,200円
豚:　344頭×300円＝　103,200円
牛(小):　5頭×2,000円＝　10,000円
牛(中):　10頭×3,000円＝　30,000円
牛(大):　3頭×5,000円＝　15,000円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	社会資本整備総合交付金事業（市道調査・改良）
総合計画による位置づけ	基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり					政策分野	⑥道路・交通

実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	56	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

市道防災事業路線の調査及び市道道路照明灯の点検調査を行い、対策が必要な法面の防災工事を行う。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 483,093

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良	市道調査・改良
事業費(単位:千円)		補助率	342,758	46,830	81,686	11,819
財源内訳	国庫支出金	52.5・53%	177,899	24,150	42,148	5,477
	県支出金					
	市債	90%・100%	139,800	8,000	18,600	1,900
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		25,059	14,680	20,938	4,442

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
委託料	道路防災調査、道路付属物調査	6,119	1,000
工事請負費	法面防災工事（市道第一鍋野線）		
	【今回増額補正】国の追加内示による	4,216	484
計		10,335	1,484

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		20,000 千円
6月補正事業費		△ 12,881 千円
3月補正事業費		4,700 千円
（補正財源内訳）	国庫支出金	2,234 千円
	市債	1,900 千円
	一般財源	566 千円
補正後事業費		11,819 千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業（橋りょう補修整備）
総合計画による位置づけ	基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり					政策分野	⑥道路・交通

実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	56	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 229,512

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			橋梁補修設計	橋梁補修設計・補修工事・定期点検	橋梁補修設計・補修工事・定期点検	橋梁補修設計・補修工事・定期点検
事業費(単位:千円)		補助率	9,405	66,856	73,482	79,769
財源内訳	国庫支出金	57.75・58.3%	5,197	37,917	42,726	44,592
	県支出金					
	市債	90%・100%		11,900	12,400	23,500
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		4,208	17,039	18,356	11,677

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
委託料	橋梁定期点検、補修設計	14,000	500
	【今回増額補正】国の追加内示による	2,520	280
工事請負費	橋梁補修工事	34,769	1,500
	【今回増額補正】国の追加内示による	25,200	1,000
計		76,489	3,280

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		50,000 千円
6月補正事業費		769 千円
3月補正事業費		29,000 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金	16,160 千円
	市債	10,500 千円
	一般財源	2,340 千円
補正後事業費		79,769 千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費	事業名	流域治水推進事業
総合計画による位置づけ	基本方針	助け合う安全・安心のまちづくり					政策分野	①消防・防災

実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ページ	57	新規	○	継続	

1. 事業の目的・効果

市内で発生する家屋浸水等の被害軽減を図るため、浸水にかかるメカニズムを解析し短中長期で被害軽減対策の整備目標を立てる。

2. 事業内容

塩田川流域にかかる浸水被害の要因分析、及び現状分析を行い、今後の流域治水対策の検討を行う。

3. 全体計画

事業期間 令和 5 年度 ～ 令和 5 年度　事業費(千円) 14,300

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容						流域治水対策の検討
事業費(単位:千円)		補助率				14,300
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	50%				7,000
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源					7,300

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内	容	補助	単独
委託料	流域治水検討業務	18,000	500
	【今回減額補正】落札減による	△ 4,000	△ 200
計		14,000	300

5. その他参考となる事項

当初予算事業費		18,500 千円
3月補正事業費		△ 4,200 千円
(補正財源内訳)	県支出金	△ 2,000 千円
	一般財源	△ 2,200 千円
補正後事業費		14,300 千円

【様式1】

令和5年度　3月 補正予算　事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	06 農林水産業費	項	02 林業費	目	04 造林費	事業名	市有林森林経営事業
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり					政策分野	②林業

実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ページ	54	新規		継続	○

1. 事業の目的・効果

市が所有、管理する山林について、中期的な観点から森林経営計画による施業を事業体が行う事により、効率的な経営を図る。

2. 事業内容

市有林の一部を、5ヶ年で計画的に作業道も新設しながら、搬出間伐を事業体が行う。毎年度、事業費から各補助金を差し引いた額を市が負担する。

3. 全体計画

事業期間 令和 2 年度 ～ 令和 6 年度　事業費(千円) 17,057

実施年度			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業内容			市有林の搬出間伐、作業道整備	市有林の搬出間伐、作業道整備	市有林の搬出間伐、作業道整備	市有林の搬出間伐、作業道整備
事業費(単位:千円)		補助率	5,140	4,443	3,424	4,050
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	市債					
	ふるさと応援寄附金					
	その他					
	一般財源		5,140	4,443	3,424	4,050

4. 本年度の事業費内訳

予算額(単位:千円)

内容		補助	単独
負担金、補助及び交付金	市有林森林経営事業		3,650
	【今回追加補正】		400
計			4,050

5. その他参考となる事項

（事業内容） 作業道新設及び、間伐材搬出

既決予算事業費	3,650千円
R4.3月補正事業費	400千円
補正後事業費	4,050千円

増額理由：搬出材積の増加に伴う増額